

第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会
スポーツクライミング競技実施要領
《全種目共通》

原則として、競技の方法は、国民スポーツ大会スポーツクライミング競技全種目についての共通規定及び「公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング競技規則」（以下「スポーツクライミング競技規則」という。）によって実施する。ただし、同規則によらない事項及び第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会においてのみ実施する事項については、監督会議の際に出席者に審判長より説明を行う。

1 全種目共通事項

(1) 競技場、競技エリアへの立ち入り

＜大会前の立ち入り＞

競技場、競技エリアへの選手、監督及びその関係者の立ち入りができる日時は次のとおりとする。

種目	立ち入り制限区域等	日時
リード競技	倉吉体育文化会館 クライミング施設	7月26日（土）22時まで
ボルダー競技		

＜大会期間中の立ち入り＞

大会中の選手、監督及びその関係者が立ち入りできる範囲については、大会当日指示する。なお、8月1日（金）はクライミング施設を含む指定エリアへの立ち入りは禁止とする。

(2) 競技に関する選手、監督の立ち入りは運営予定時間を参照のこと。

(3) 指定時間は、次のとおりとする。

オブザベーション（6分）

種目	種別	指定時間
リード競技	少年男子	6分
	成年女子	6分
	成年男子	6分

指定時間はセッターと協議の上、当日発表する。

オブザベーション（8分）

種目	種別	指定時間		
ボルダー競技		1・2課題	休憩	3・4課題
	少年男子	5分	5分	5分
	成年女子	5分	5分	5分
	成年男子	5分	5分	5分

(4) スタート順の抽選

リード競技のスタート順、及びボルダー競技のスタート順については3月8日（土）の中国山岳（・スポーツクライミング）連盟（協会）連絡協議会にて抽選を行い決定する。

(5) スタート

ア. リード競技のスタートは種別ごとに少年男子、成年女子、成年男子の順とする。

チームの二人は続けて競技を行う。チーム内の競技順は登録選手の枝番号順とし、

競技順の変更は一切認めない。（例：〇〇-1の選手、〇〇-2の選手の順）

イ. ボルダー競技のスタートは種別ごとに少年男子、成年女子、成年男子の順とする。

チームの二人はそれぞれ1基（2課題）を指定時間内にトライ開始をする。

なお、アテンプットの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間を設ける。

（7） 競技の棄権

ア. 選手が体調その他の理由で競技を棄権するときは、監督は主任審判員に対し、文書をもってその理由を届け出なければならない。（棄権届・受付時配布）

イ. 点呼・選手確認に応じないときは、主任審判員は当該チームが棄権したものとみなし、当該チームの棄権を宣言することができる。

（8） 失格、退場及び警告

『スポーツクライミング競技規則第5章 罰則』に定めるところによる。

（9） 抗議

『スポーツクライミング競技規則第6章 抗議』に定めるところによる。（抗議届・受付時配布）

（10） 審査の基準

『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』及び『同規定別紙本大会出場チーム選出方法について（解説）』に定めるところによる。

2 成績等の掲示及び発表

成績発表は、競技会場では行わない。公式掲示板はインターネット上に設置する。

3 事前練習について

競技場、競技エリアへの立ち入り禁止の7月26日（土）22時まで事前練習は可能

4 アクセス・駐車場について

競技会場の駐車場を利用すること。

5 施設利用について

大会期間中は選手・監督の喫煙場所は設置しない。ゴミは各チームで持ち帰ること。

6 ブロック大会参加費

1チーム（各種別）10,000円を7月30日までに、下記の口座に振り込みをすること。なお、振込に係る費用は負担していただくこととする。

振込先 山陰合同銀行 浜村支店（063） 普通預金：3629264 名義：鳥取県山岳協会 競技委員会 会計 山田佳範

※県単位で3種別まとめて30,000円のお振込みをお願い致します。

※県スポーツ協会への参加費、宿泊費は別途、必要となります。

7 その他

質問事項については、別添様式により7月10日必着で下記宛てに送付すること。

質問事項の処理については、重要な事項は事前に各県に連絡するものとする。

《リード競技》

1 競技について

競技は、オンサイト・リード方式とし、決勝のみとする。

2 運営予定時刻（運営予定時刻は進行状況により変更することがある。）

項目		時刻	場所	備考
開会式は行わない				
少年男子	アイソレーションオープン	9 : 0 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	9 : 2 0		
	オブザベーション	1 0 : 3 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 0 : 4 5		
	競技終了	1 1 : 3 5		
ルートセット				
成年女子	アイソレーションオープン	1 1 : 2 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 1 : 4 0		
	オブザベーション	1 2 : 5 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 3 : 0 5		
	競技終了	1 3 : 5 5		
ルートセット				
成年男子	アイソレーションオープン	1 3 : 4 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 4 : 0 0		
	オブザベーション	1 5 : 1 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 5 : 2 5		
	競技終了	1 6 : 1 5		

※一般観客等の開場時間は少年男子アイソレーションクローズの9:20とする。

※成年女子、成年男子選手も他種別の観戦ができるが、アイソクローズを厳守すること

3 競技の方法

(1) 競技

各チームの競技者2名は、同一ルートをそれぞれ一人ずつ続けて競技を行う。チーム内の競技順は登録選手の枝番号順とし、競技順の変更は一切認めない。（例：〇〇-1の選手、〇〇-2の選手の順）

(2) 隔離

ア. アイソレーションのクローズ時刻以後は、選手及び監督、トレーナーをアイソレーション・ゾーンに隔離する。

イ. 選手及び監督、トレーナーはアイソレーション・ゾーンから退出した後は、再入室をすることはできない。

ウ. 退出した監督は、競技役員の指示に従い、指定エリアに移動する。

(3) オブザベーション

ア. オブザベーション（ルート公開）の時間は6分間とする。

イ. オブザベーションは各種別ごとに各チームの選手・監督3名全員で一斉に行う。

（監督はオブザベーションに無理に立ち会わなくても良い）

ウ. オブザベーション時のメモ用紙は指定の用紙をアイソレーションクローズ後に配布する。双眼鏡を使用し、メモを取ることができる。双眼鏡を使用し、メモを取ることが

できる。

エ．選手及び監督は、ルートの開始地点付近のホールドに両足を地面から離すことがない状態であれば触れることができる。

(4) 移動

オブザベーションを終えた監督・選手は、審判員の指示に従い、アイソレーション・ゾーンまたはコール・ゾーンに戻るものとする。

(5) 競技の指定時間は6分間とする。

(6) 各選手は、コールゾーンを離れた時からの最終準備を行うことが認められる40秒の準備時間が認められる。選手は準備時間の終了後速やかにアテンプトを開始する。

(7) 選手の身体のすべてが地面から離れたときをもってアテンプトの開始とし、競技時間の計測を開始する。

(8) アイソレーションゾーンへの入室以降、指示を行った時点から一切の電子通信機器類の持ち込み、使用を禁止する。

4 テクニカル・インシデント

(1) 『スポーツクライミング競技規則 第10章 チーム・リード』
第150条～152条に定めるところによる。

5 審査基準

(1) 『スポーツクライミング競技規則 第10章 チーム・リード』第143条～第147条に定めるところとする。その他、『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』 第2章ブロック大会第4条チーム・リードに定めるところによる。

《ボルダー競技》

1 競技について

競技は、選手2名が2基のボルダー・ウォールを使用し、各ウォールにセットされた2つのボルダーをチーム単位で同時に登って実施する。

各選手は全4ボルダーを登り、決勝のみとする。

2 運営予定時刻（運営予定時刻は進行状況により変更することがある。）

項目		時刻	場所	備考
少年男子	アイソレーションオープン	8 : 3 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	9 : 1 0		
	オブザベーション	1 0 : 1 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 0 : 2 5		
	Bチーム	: 3 0		
	Cチーム	: 3 5		
	Dチーム	: 4 0		
	Eチーム	: 4 5		
	競技終了	1 1 : 0 0		
ルートセット				
成年女子	アイソレーションオープン	1 0 : 2 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 1 : 0 0		
	オブザベーション	1 2 : 0 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 2 : 1 5		
	Bチーム	: 2 0		
	Cチーム	: 2 5		
	Dチーム	: 3 0		
	Eチーム	: 3 5		
	競技終了	1 2 : 5 0		
ルートセット				
成年男子	アイソレーションオープン	1 2 : 1 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 2 : 5 0		
	オブザベーション	1 3 : 5 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 4 : 0 5		
	Bチーム	1 4 : 1 0		
	Cチーム	1 4 : 1 5		
	Dチーム	1 4 : 2 0		
	Eチーム	1 4 : 2 5		
	競技終了	1 4 : 4 0		

※一般観客等の開場時間は少年男子アイソレーションクローズの9:10とする。

※アテンプト・ピリオドは、選手がFOPに入る前にアテンプトの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間と、5分の最大競技時間で構成される

※成年女子、成年男子も他種別の競技を観戦できる。ただしアイソ・クローズ厳守

3 競技の方法

(1) 競技は、選手2名のチーム単位で実施する。選手2名は、複数のボルダーを両名が共に登る。

(2) 隔離

ア. アイソレーションのクローズ時刻以後は、選手及び監督、トレーナーをアイソレーション・ゾーンに隔離する。

イ. 選手及び監督、トレーナーはアイソレーションから退出した後は、再入室をすることはできない。

ウ. 退出した監督は、競技役員の指示に従い、指定エリアに移動する。

(3) オブザベーション

ア. 各種別ごとに、競技前に監督・選手は一斉に全課題の集団オブザベーションを行い、時間は8分間（4分×2基）とする。

イ. 競技前の集団オブザベーションでは、全ての選手及び監督はアイソレーション状態で拘束される。選手及び監督はオブザベーションを指定されたオブザベーション・エリア内で行わねばならない。オブザベーション・エリアは主任審判員が決定する。オブザベーション・エリアがマット上を含む場合、選手及び監督はスターティング・ポジションとしてマーキングされたホールドにのみ、両足がマットから離れない状態で触れることができる。

ウ. 競技中のオブザベーションに、選手はスターティング・ポジションとしてマーキングされたホールドにのみ、両足がマットから離れていない状態で触れることができる。スターティング・ホールド以外のホールドに手または足で触れた場合は、そのボルダーのアテンプト1回としてカウントする。

(4) 移動

オブザベーションを終えた監督・選手は審判員の指示に従い、アイソレーション・ゾーンまたはトランジット・ゾーンに戻るものとする。

(5) 競技の進行

チームの決められた競技順に定められた数のボルダーで行う。1競技時間に最初の2つのボルダーのアテンプトを行う。競技時間終了後、選手は1競技時間と同じ休憩時間を取り、次にもう2つのボルダーのアテンプトを行い、すべてのチームがこれを繰り返す。

1競技の指定時間は1競技（2課題）5分間とし、休憩時間は5分間とし、選手がFOPに入る前にアテンプトの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間を設ける。

(6) 競技時間の開始と終了

競技時間及び休憩時間の開始並びに終了は、ブザーによる合図によって、競技中、休憩中、待機中の全選手に対して同時に通告しなければならない。

(7) 休憩時間

競技中の各チームの選手は、両選手が共に完登または放棄した時、及び競技時間終了時には速やかに休憩エリアに入らなければならない。このエリアからは次の課題を見る事はできない。

(9) 残り時間の告知

審判員は、それぞれの競技者に対し、指定時間1分前に残り競技時間を告知する。

選手は競技中、残り時間を聞く事ができる。

(10) 競技中

ア. チームのスタート順に従い、ブザーによるスタート合図によりチームの選手は2名ずつ同時にスタートする。同一チーム内のどちらの選手がどちらのボルダーをどの順番で登るかは自由であり、ボルダーの交替も制限はない。なお、一つのボルダーで同時に2名の選手がアテンプトを行うことはできない。

イ. 監督は競技時間中、指定された場所から選手に助言をしても良いが、指定されたエリアからは出ることはできない。（同チーム選手同士での助言は可）

ウ. 各ボルダーの競技が終了した時点で選手はジャッジペーパーを確認する。

4 テクニカル・インシデント

『スポーツクライミング競技規則 第11章 チーム・ボルダー』

第182条～184条に定めるところによる

5 審査基準

(1) 『スポーツクライミング競技規則 第11章 チーム・ボルダー』第175条～第179条に定めるところとする。その他、『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』 第2章ブロック大会第5条チーム・ボルダーに定めるところによる。